

◎ 第3回検討委員会を開催しました

9/1（火）に第3回旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会を開催しました。第3回では、これまでの検討委員会や先進事例調査で頂いた様々なご意見を整理したうえで、まちづくり構想の骨子案についてご意見を頂きました。

まちづくり構想の章立て、これまでのご意見などを整理したものを内容とする、まちづくり構想の骨子案として、委員会にご提示しました（当日資料内容については、右欄及び裏面をご参照ください。）

◎ 第3回検討委員会でのご意見

まちづくり構想に盛り込むべき内容として、地域で生活される方の観点や広域的な観点からご意見が出されましたのでご紹介します。

○まちづくりの方向性（跡地の担う役割、跡地に備える7つの要素について）

- ・跡地が商業施設や南北への回避路となった時、以前の警固公園のような目の届かない空間になり、治安の悪化や子どもたちはじめ住民が安心して利用できない場所になることを危惧している。
- ・近年、地域には子どもが増えているが、遊ぶところが全くない。子どもたちのためにも安心して安全な広場を希望している。改めての強調になるが、避難や防災の機能は特に必要。
- ・現在利用する雙葉小学校は、管理された施設であり、夏祭りなど地域との密な交流もある。地元には音楽大学設置の話も来ているなど、地域は安全安心な生活ができる跡地利用を熱望している。
- ・本委員会の議論の枠組みは、今後の検討課題になることもあるが、地域の観点と広域とか専門的な観点から、非常に貴重な跡地が備えるべき性能とか条件を整理していこうというものである。

○まちづくりのテーマと跡地に備えるべき機能のあり方

- ・テーマが共有されるためにも、人を育てる、都市を育てるというテーマがどういう意味なのか、補足説明が必要。（例えば、都市活動を担うなど）大名らしさを表すならば、歴史を未来につなぐ「時代をつなぐ」や子どもと高齢者や住民や来街者などの「人をつなぐ」などもあるのでは。
- ・歴史をつなぐ空間は、広場の空間だけにとどまらないのではないか。歴史をつなぐできなかったのは大名小学校である。「歴史をつなぐこと」と「広場」の整備は分けて整理すべき。
- ・（仮称）ときの広場は、視覚的な開放性を確保しながら、くつろぎや待ち合わせの場としてオアシスのような場になってほしい。

○空間構成のあり方

- ・ネットワーク軸が東西、南北方向に出ているが、大名とのつながりや天神とのつながりなど、それぞれ意味合いが異なるのではないか。空間構成という言葉の使い方も含めて補足等が必要。
- ・公共空間は都市機能としても非常に重要。機能する公共空間には条件があり（仮称）ときの広場も、空間のつながりやにぎわいといった周辺のまちへの影響も考えながらつくっていくべき。



○第3回検討委員会の様子

○今後の検討課題

- ・まちづくりの方向性としてお互いに相容れない性能を抱えながら、どう共存させていくのか旧大名小跡地活用の難しさであり、次のステップへの引き継ぎを構想の中で明確にしてほしい。
- ・相容れない要素を共存させるためには、機能の組み合わせや空間的なデザインなどで解くのか。また空間をつくって終わりではなく、どのように使い続け、地域の人たちに開くのかも課題。

次回第4回は、これまでの委員会でのご意見を踏まえ、旧大名小学校跡地まちづくり構想の案について検討していく予定です。開催予定は、平成27年11月頃です。

◎ お問い合わせ

旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会 事務局
福岡市 住宅都市局 都市づくり推進部 都心再生課 光益、定講

電話：092-711-4426 ファックス：092-733-5590 Eメール：toshin-s.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

ホームページ：http://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/kaihatsu/toshi/kyudaimyosyogakkoatochi.html

◎ まちづくり構想の章立ては次の通りです

※青字で記載の項目については裏面をご参照下さい。

1. 旧大名小学校跡地まちづくり構想について

（記載する内容）
跡地活用に際しての基本的な考え方を整理する“まちづくり構想”の役割について記載します。

2. 旧大名小学校跡地まちづくり構想の前提

（記載する内容）
まちづくり構想をとりまとめる上で、前提とする計画等を記載します。

- ・福岡市基本計画、福岡市都市計画マスタープラン等の市の上位計画
- ・舞鶴小中学校の統合再編に際して地域と定めた跡地整備に関する事項
- ・H22.23に実施した旧大名小学校校舎の文化的評価

■福岡市都市計画マスタープラン



■天神と大濠公園・舞鶴公園公園地区をつなぐ明治通り



■ヒューマンスケールで界隈性のあるえのき通り



■地域の交流・防災拠点となる空間



■旧大名小学校校舎の文化的価値



3. まちづくりの方向性

（記載する内容）
旧大名小学校跡地を取り巻く地区について、活かすべき個性や魅力、まちづくり上の課題などを整理し、跡地が担うべき役割について「天神地区・大名地区のまちづくりの方向性」として記載します。また、その役割を踏まえ、跡地に備える要素ごとに「旧大名小学校跡地のまちづくりの方向性」として取り組み項目を記載します。

○活かすべき地区の個性や魅力

（記載する内容）

～大名地区～

- ・創造的な場や人等の集積
- ・暮らしの見えるまち 等



～天神地区～

- ・商業施設の集積
- ・地下歩行者ネットワークや賑わい拠点の充実等



～大濠公園・舞鶴公園地区～

- ・歴史・芸術文化・観光の発信拠点



4. まちづくりのテーマと跡地に備えるべき機能のあり方

（記載する内容）
跡地の土地利用を方向づけるまちづくりのテーマや跡地に備える機能のあり方について記載します。

5. 空間構成のあり方

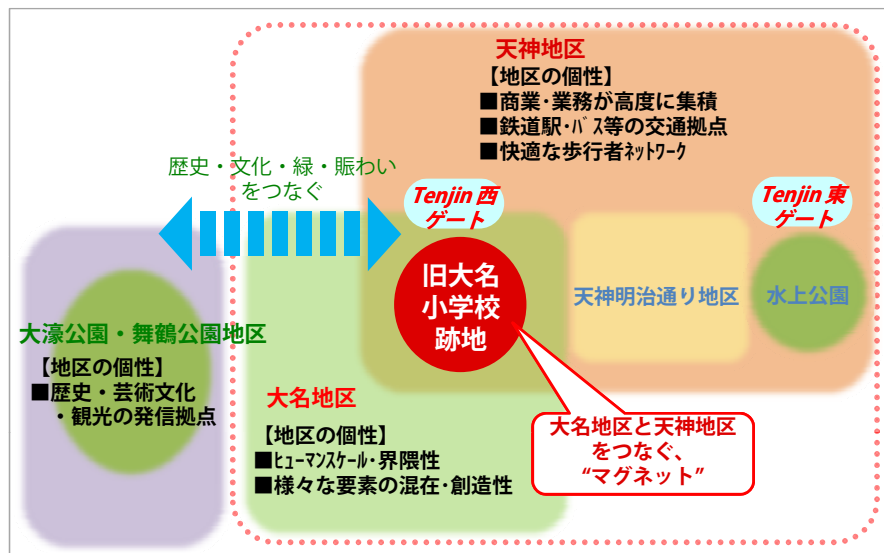
（記載する内容）
旧大名小学校跡地における空間構成について、概ねの位置や周辺地区とのつながりを記載します。

6. 今後の検討課題

（記載する内容）
検討委員会で頂いた貴重なご意見等で、まちづくり構想の策定後、跡地利用を具体化していくにあたり検討していくべき取り組み（①都市文化の形成に向けた取り組み ②安全・安心・快適に暮らせるまち ③創造的な場づくり ④持続的なまちづくり ⑤円滑な機能更新に向けて）などについて今後の検討課題として記載します。

天神地区・大名地区のまちづくりの方向性

- ◎まちなみや人の流れを繋ぎ、都心部の活力等を向上
- ◎天神地区の西のゲートとして、大濠公園・舞鶴公園地区の歴史・文化や緑・賑わいをつなぐ
- ◎旧大名小学校跡地は、天神地区と連携し、大名地区の個性を引き出し、まちに厚みを加える機能・空間を形成し、両地区をつなぐ“マグネット”となる



旧大名小学校跡地のまちづくりの方向性

- ◎旧大名小学校跡地と周辺地区をつなぎ、人・モノ・コトを集める「マグネット」となるための“新たな拠点”を形成する視点が重要
- ◎旧大名小学校跡地には、学校施設が担ってきた役割や歴史の継承をはじめ、地区の特性を活かした個性あるまちづくり、くらしの見えるまちづくり、都市活力を更に高めるまちづくりなどに貢献する7つの要素を備える



【旧大名小学校跡地に備える要素】

- | | |
|--|---|
| <p>①歴史文化性</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちや人の歴史に新たな付加価値を加え、未来へつなぐ場づくり ●校舎や広場空間等を継承し、新たなシンボルとなる空間を創出 | <p>⑤一体性</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校舎、広場、新たな土地利用による一体性を持った空間を創出 ●天神地区・大名地区において、跡地の土地利用転換のタイミングを捉えた計画的なまちづくり |
| <p>②創造性</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大名地区の特性や強みを活かし、人、モノ、コトが交流する創造的な場を創出 ●若者をはじめ人を育み夢を実現する場づくり | <p>⑥回遊性</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東西、南北の人の流れを創る回遊拠点として、都市空間(広場)を創出 ●人を引きつける都市デザインによる魅力づくり |
| <p>③居住性</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもから高齢者まで暮らし続けられる、暮らしを支える交流空間づくりや生活環境を悪化させない取り組み | <p>⑦全国的モデルになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校跡地の活用として、まちづくりのトリガー(きっかけ)となる、持続可能な場づくりに公民学連携で先進的に取り組む |
| <p>④防災性</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住む人や働く人などだれもが安全かつ安心に活動できる、災害時に対応できる防災拠点づくり | |

まちづくりのテーマと跡地に備えるべき機能のあり方

◎まちづくりのテーマ

人を育てる場所、そして都市を育てる場所へ生まれ変わります

- ◎こどもから大人までが集う「人を育てる場所」を創ります
- ◎都市を担う人・モノ・コトの交流を促す「都市を育てる場所」を創ります

◎跡地に備えるべき機能のあり方

- ①拠点性を高める機能**
 - ・都市の成長を牽引する新たなビジネス創出の拠点
 - ・安全安心な防災・暮らしの拠点 ほか
- ②天神地区・大名地区の特性を引き出し強化する機能**
 - ・クリエイティブな人や企業・若者や女性が活躍できる拠点
 - ・次世代を担う人を育てる拠点 ほか
- ③シンボルとなり交流の中心となる空間**
 - ・回遊拠点として、市民が憩い、やすらぎ、楽しみを体感できる都市空間の創出
 - ・歴史を今・未来へつなぐ空間『(仮称)ときの広場』の整備 ほか

空間構成のあり方

- (仮称)ときの広場……跡地の中心に配置、憩いと賑わいの拠点
- ネットワーク軸……西通りの賑わいを引き込み、大名地区と天神地区をつなぐ
- 明治通り沿道ゾーン……天神地区と大濠公園・舞鶴公園地区をつなぐメインストリートとして、緑の連続性などに配慮した風格のある街並みを形成
- えのき通り沿道ゾーン……校舎を活用し、歩いて楽しい賑わいある街並みを形成

